

未来の袋井へ提言
地域学講座発表会

静岡理工科大

袋井市と静岡理工科大(同市豊沢)が連携し、地域社会の発展や人材育成を目指す「地域学講座」の提案発表会が20日、同大で開かれた。
講座は8月上旬に開



袋井市の課題と将来に向けた提言をする学生
＝袋井市の静岡理工科大

講し、学生35人が6グループに分かれて話し合いやフィールドワークに臨んだ。市内の歴史資料館や郷土資料館を訪れて市への理解を深めながら、課題や将来に向けた提言を考えた。「若い世代が住みやすい町にするには」と題して発表したグループは現代のスマホの普及率の高さを指摘し、「町全体でWiFiが利用できる環境を整えてはどうか」と考えを示した。このほか、観光振興や女性の住みやすい街づくり、市内のイベントや生活情報を知らせるアプリの提案などがあった。

史資料館や郷土資料館を訪れて市への理解を深めながら、課題や将来に向けた提言を考えた。「若い世代が住みやすい町にするには」と題して発表したグループは現代のスマホの普及率の高さを指摘し、「町全体でWiFiが利用できる環境を整えてはどうか」と考えを示した。このほか、観光振興や女性の住みやすい街づくり、市内のイベントや生活情報を知らせるアプリの提案などがあった。